

◎9月18日(祝)開催 第2997回例会
創立95周年記念例会Ⅶ・ふるさと兵庫100山
姫路南部の「小富士山(麻生山・173M)へ」
布引支部 R.F/写真説明:H.Y

昨日17日(日)は「台風の影響で朝から雨風!」・・・との予想に反し雨が上がり、神戸市民山の会の月例会がコース短縮されたものの予定通り実施されました。参加後、帰宅してお風呂に入り、薄着のまま就寝したのがいけなかったのか、今朝は少し身体がだるく、今日のこの行事に参加しようかどうか迷ったのですが、山の高さから言うと、布引の貯水池ぐらいしかない様な低山なので・・・と気楽な気持ちで参加しました。



集合は JR 山陽本線・御着駅午前 10 時でした!

集合時間の 10 時には私と同じ思いで来られたのでしょうか?・・・随分多くのヒヨコの仲間が集われていました。案内される吉野会長の挨拶もそこ



古い道標(旧山陽道の表示板)

そこに出発。30 分程古い町並みをゆっくりと歩き、登山口のある姫路市立四郷小学校の裏手空き地に着きました。若い S さんのリードによる準備体操を終え、登山の開始となりました。



準備体操にも熱心な参加者の皆さん

登山道は結構えぐれており、前日の雨のなごりの水が流れている箇所などが有りました。露岩の斜面などもあって、滑らないようにと気を使いながらの上りでしたので結構汗が噴き出てきました。学校の裏山らしく、子供達の手作り標識などがあるのを微笑ましく思いながら眺めて歩きました。



振り返ると御着駅周辺の街並みの展望が良い!





播磨アルプスが展望できる東屋のある場所

上り始めて 20 分足らずで眺めの良い東屋のある場所に着きました。先客グループが休んでおりましたが、人数では圧倒的にこちらが多く、恐れ？をなしたのか、すぐ場所を開けてくれました。水分補給をしたり、高御位山を頂点にした播磨アルプスの峰々の展望をゆっくりと楽しみました。



清楚なリンドウが咲いていました！



ヒヨコ登山会「ニュー・リンドウ隊」?の皆さん

頂上は南西方向の少し高い場所に見える寺の南側。「10 分程で着くので頑張ろう！」とリーダーの声。汗をかくと身体のけだるさも何処へやら！・・・頂上での昼食を楽しみに歩きだしました。



山頂の行者堂（通称・華厳寺）

古めかしく今にもつぶれそうなお堂？（華厳寺と言うそうです！）には、飾磨郡西国第一番札所の古い名板が貼られていました。感心したのは堂をとりまくようにして建ち並んでいる古い仏像群でした。何年の時を経ているのでしょうか・・・そっと手を併せました・・・



行者堂の横で記念撮影（新しい〇〇群?）です！

頂上はそこから南へ 50 メートル。三角点も無い台地状の頂上でした。それでも瀬戸内海の展望が素晴らしく、景色を堪能しながら昼食を楽しみました。

小富士山の名は通称名で「麻生山・あさおさん」

が正式な山名とのこと。吉野会長の説明によると、「昔播磨灘を行き通う船から北を眺めると、低いながらも山容の美しい姿が目にとまり、何時しかだれとはなしに「播磨の小富士」と呼ぶようになり、船旅の安全を願う気持ちはやがて神への祈りとなり、神の坐す山として崇められ多くの伝説を生んできた！」・・・とのことでした。



山頂の表示板の前で、仲よしNご夫妻。



山頂から眺める瀬戸内海

朝出発してすぐに「あれが小富士山！」と教えてもらった時は正直、富士の名前なんてどこから来たの？・・・と思うほど北側から眺める山容は富士らしくありませんでしたが、説明を聞き納得出来ました。

午後からは当初の予定を変更し、向い側の仁寿山（じんじゅざん・174.8M）へ登った後、南へ下り、山陽電鉄白浜の宮駅まで歩くことになりました。



小富士山から西方向仁寿山を望む



NHKのテレビ放送施設（アンテナ）のある仁寿山

仁寿山からの下りは急な上に結構な悪路でした！・・・。

ふるさと兵庫 100 山の本に紹介されているコースは、小富士山、仁寿山に加え、姫路バイパスを超えて南西にある御旅山（灘のけんか祭りでは有名な松原八幡宮が裾にある）へ登るそうですが、本日はパス・・・！

低山だと軽く考えていた方は、私を含め多くいらっちゃったはず！・・・高さだけをラクチン登山の対象にしてはダメ！！・・・ということに、改め考えさせられました。（ウラメシや～！）

天 候 晴れ

担 当 例会・自然保護委員会

参加者 39名